

あなたと市議会



「自分の色で」

作者／増田中学校美術部3年

たかはし
高橋

こ ゆ き
小雪さん

主な内容

特集 議会からの提言・決議はどうなった? 2

3月定例議会ピックアップ... 4 会派代表質問..... 10

委員会審査報告..... 6 一般質問..... 11

新年度予算審査..... 7 ざかいトピックス..... 15

作品のこだわりポイント!

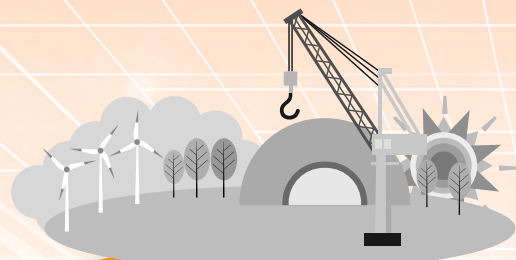
この絵は、自分の色・個性を大事にしようという想いで描きました。人それぞれが異なった良さを持っているということを表現するために、背景には様々な色を使ってみました。お互いに、個性を尊重し合う生活をしていければいいと思います。

議会からの提言・決議が あなたの未来につながる

あなたの未来



市の制度化・事業化



提言

奨学金制度の拡充を!

令和3年8月17日

総務文教常任委員会が提出

令和4年3月定例会

奨学金制度の拡充

- 奨学金の増額
- 貸付期間の延長
- 募集時期の見直し



奨学金制度の拡充が横手市の進学希望者、またそのご家庭の経済的不安を少しでも解消するものとなることを願っています

奨学金返還支援制度の創設

- ①県返還助成制度の交付を受けている
 - ②市内に住所があり、5年以上居住する意思がある
 - ③市税を滞納していない
- ①～③の全てに該当する方が対象

詳しい内容については、市学校教育課（☎32-2414）にお問い合わせください。

県立横手高等学校
今入 直樹 先生

提言の
詳しい内容は
議会だより
68号で



進学などを希望する方が安心して学べる環境づくりは、地域を担う人材育成にもつながりますよ



あなたの声



議会内での協議・検証



議会からの提言・決議



米価の下落、大雪、コロナ禍、燃料・資材価格高騰などから、今すぐ市内農家と地域経済を守らないと

決議

市内農家への支援を!

令和3年12月定例会

決議案を全会一致で可決

令和4年1月臨時議会

燃油・資材価格高騰に対する支援

- 冬期農業の施設栽培において、掛かり増した経費の一部を助成



米価下落で途方に暮れましたが、これで今後も農家を続けていけそうです

農事組合法人 塚堀農事生産組合
鈴木 和一 さん

詳しい内容については、市農業振興課（☎32-2112）にお問い合わせください。

米価下落に対する支援

- 種もみ代相当額の支援
- 主食用米以外の作物を新規あるいは規模拡大して作付けする方への支援
- 水稻露地プール育苗導入への支援



決議の
詳しい内容は
議会だより
70号で



特集!

議会からの提言・決議はどうなった?

賛否が分かれた議案と審議結果

その他の議案は全員賛成により可決されました。
○：賛成 ●：反対 ※寿松木孝議長は採決に加わりません。

案件名 会派・議員名	議決結果	令和4年度 横手市一般会計予算	「最低賃金の改善を 求める意見書」の採 択を求める陳情書
		原案可決	採 択
表決数	賛 成	21	18
	反 対	4	7
市 民 の 会	宮川 拓也	○	○
	福田 誠	○	○
	山形 健二	○	○
	大日向香輝	○	○
	菅原 正志	○	○
	齋藤 光司	○	○
	菅原 恵悦	○	○
さ き が け	青山 豊	○	○
	佐藤 誠洋	●	●
	寿松木 孝	※	※
	播磨 博一	○	○
新 政 会	塩田 勉	○	○
	高橋 聖悟	○	○
	柴田 忍	○	○
	佐藤 忠久	○	●
	小野 正伸	○	●
創 成 の 会	高橋 和樹	○	○
	林 一輝	○	●
	本間 利博	○	●
日 本 共 産 党	加藤 勝義	○	●
	鈴木 勝雄	●	○
	立身万千子	●	○
公 明 党	土田百合子	○	○
	井上 忠征	○	○
新 風 の 会	木村 清貴	●	○
実 横 会	加藤 雄太	○	●

令和4年度一般会計予算に対する討論

反対 コロナ禍で困っているのは
全ての市民だ

立身 万千子 議員

昨年に匹敵するほどの雪害が大きな克服課題だが、雪対策を深く分析しないまま進めていくことに対して市民から不安・疑問の声があるほか、大型公共施設整備を先行させるあまり、雪捨て場の確保があと回しにされている。

地方自治体の責務は「住民福祉の向上」であり、この予算案は市長が言った市民サービスの維持・向上にはほど遠いものと言わざるを得ない。

■ 交流センター設置条例の一部改正

Y2ぶらざに起業支援室「Bizサポートよこて」を移転して事業を実施します。

■ 国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険の加入者に未就学児がいる世帯において、未就学児に係る均等割額が軽減されます。

■ 都市公園条例の一部改正

現在休業している横手公園スキー場が廃止されます。

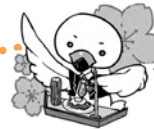
■ 奨学金貸付条例の一部改正

奨学金の貸付金額および償還期間が見直され、より活用しやすい制度となりました。(制度の内容はP3をご覧ください)

■ 雪対策費に関する補正予算

除排雪経費のさらなる不足が見込まれるため、1月に引き続き予算を追加補正しました。令和3年度では、総額25億円を越える雪対策費の支出が見込まれています。

■ 人権擁護委員の推薦 森田 栄一氏 (平鹿・新任)



議会案を提出しました

■ 交流センター設置条例の一部を改正する条例に対する附帯決議

施設の運営実態と条例の規定内容との整合性が図られるよう、使用料の条項などについて早期に見直しを検討し、適正な改正を行うよう求めました。(関連記事 P6)

■ ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議する決議

市議会から政府に対し、国際社会と密接に連携しつつ、毅然たる態度でロシアに対して制裁措置の徹底を図るとともに、我が国への影響対策について万全を尽くすよう求めました。

採択

陳情の審査結果

- ◆「最低賃金の改善を求める意見書」の採択を求める陳情書 (秋田県労働組合総連合 議長 越後屋 建一 氏)
- ◆最低賃金の改善にあたり、「中小企業・零細企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書 (秋田県労働組合総連合 議長 越後屋 建一 氏)

1月臨時議会の概要

米価下落及び燃油・資材価格高騰に対する経営支援のほか、建築基準法等関係手数料条例の一部改正、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金、保育士等の処遇改善、除雪費に関する補正予算等を審査し、いずれも可決しました。

審議結果

○：賛成 ●：反対
※寿松木孝議長は採決に加わりません。
◎は補正予算修正案の提出者

案件名 会派・議員名	議決結果	令和4年度横手市一般会計 補正予算(第1号)に 対する修正案
		可 決
表決数	賛 成	23
	反 対	2
市 民 の 会	宮川 拓也	○
	福田 誠	○
	山形 健二	○
	大日向香輝	○
	◎菅原 正志	○
	齋藤 光司	○
	菅原 恵悦	○
さ き が け	青山 豊	○
	◎佐藤 誠洋	○
	寿松木 孝	※
	◎播磨 博一	○
	塩田 勉	○
新 政 会	高橋 聖悟	○
	柴田 忍	○
	佐藤 忠久	○
	◎小野 正伸	○
	高橋 和樹	○
創 成 の 会	林 一輝	○
	本間 利博	○
	◎加藤 勝義	○
日 本 共 産 党	◎鈴木 勝雄	○
	立身万千子	○
公 明 党	土田百合子	●
	井上 忠征	●
新 風 の 会	◎木村 清貴	○
実 横 会	加藤 雄太	○

■ 採決の結果、起立多数となり、
修正案が可決



■ 採決の結果、起立多数となり、
修正案は可決すべきものと決定

相次ぐ値上げの影響が市民生活にダイブローのように効いてきている。こんな時こそ、全ての市民に光が当たるような事業の再構築を切に願う。

修正案に対する賛成討論

提案理由

事業の組み立てを早急に検討し直し、市全体、全市民に支援が届く公平な事業を求める。

7名の議員が

補正予算に対する減額修正案提出



令和2年度に発行した
横手市プレミアム付商品券

令和4年度補正予算で
プレミアム付商品券事業が提案

議会では、これまで一般質問や当局との協議の中で、公平かつ生活弱者にも配慮した経済支援策も実施すべきだと訴えてきました。

しかし、今回提案された事業は、前回とほぼ同様の内容で行おうとするもので、議会から伝えた意見や、前回寄せられた苦情・要望を踏まえた改善策などが欠けたものになっていました。

予算決算委員会 産業建設分科会
補正予算に対する反対討論

プレミアム付商品券事業は、買える、買えないという不公平感に加え、今回は抽選という不公平感が重なる。市全体、全市民に恩恵のある事業を考えてほしい。

■ 採決の結果、出席者起立なしとなり、否決すべきものと決定

プレミアム付商品券事業分予算
3億6800万円を減額

そのとき、議会はどう判断したか

定例会最終日、令和4年度横手市一般会計補正予算(第1号)、「地方創生臨時交付金事業」にかかる事業費のうち、「プレミアム付商品券事業」3億6800万円を減額しようとする、予算の修正案を可決しました。

この結果、今回提案のあった内容でのプレミアム付商品券事業は白紙となりました。長引くコロナ禍に加え、大雪や、米価下落、燃料費高騰などで地域経済が疲弊する中、議会はどのような判断をして、この事業を認めないこととしたのでしょうか。

これまでの経緯

令和2年度プレミアム付商品券事業

事業実施前
議会から当局へ
伝えた意見・要望

地域経済を回すという目的は理解するが、買いたくても買えない人も出てくるため、生活弱者にも配慮した政策を考え、事業結果をしっかりと検証して欲しい。

商品券販売後
市民の皆さまから
議会にいただいた
苦情・要望

● 買いたくても買えなかった
● 購入可能数が世帯によって異なるのは不公平など

厚生常任委員会



危険な空き家は
市で解体してくれるの？

◆空家等の緊急安全対策措置

問 空き家を解体してほしいという相談件数はどれくらいあるのか。

答 年に数件程度の相談がある。基本的には所有者が管理するのが原則であり、所有者のいる空き家は市では解体しない。

問 今回、緊急安全対策措置として、市で解体するに至った経緯は。

答 所有者に資力がなく、台風や雪害などで危険な状態が続いていたため、緊急安全対策措置として対応した。

問 所有者がいなく、危険が迫っているなどすぐにでも解体を要する空き家を市では把握しているか。

答 特定空家等の認定候補となる空き家のうち、相続人のいない物件は把握している。建物の状態が一つ一つ異なるため、日々パトリールを行っており、今後優先順位を付けながら対応していきたい。



空き家に起因する問題も増加している

厚生常任委員 | 土田百合子・山形健二・柴田 忍・宮川拓也・林 一輝・立身万千子・青山 豊・佐藤忠久

産業建設常任委員会



Bizサポートよこては
「公の施設」じゃないの？

◆BizサポートよこてのY²ぶらざ内への移転整備に伴う条例の改正

問 条例中に使用料が規定されていないのはなぜか。

答 使用料を徴収するためには公の施設であることが前提条件となるが、この施設は地方自治法に定める「公の施設」にはならない。事業に要する経費の一部を利用者から負担金としていただく形とした。

問 公の施設ではないと判断する理由は何か。

答 普通地方公共団体は正当な理由がない限り住民が公の施設を利用することを拒んではならないとされている。この施設は、特定の要件を満たす事業者が事前に利用登録をして利用するため、公の施設ではないと判断した。

◎質疑終了後、委員間
討議を実施

使用料の条項などについて早期に見直しを検討し、適正な改正を行う附帯決議案を提出することとした。



Y²ぶらざに
移転整備された
Bizサポートよこて

産業建設常任委員 | 菅原正志・佐藤誠洋・齋藤光司・加藤勝義・鈴木勝雄・小野正伸・播磨博一・木村清貴

総務文教常任委員会



天下森スキー場周辺の
整備はどうなるの？

◆狹半内地域の総合整備計画

問 10億円を超える事業費の総合計画となっている。辺地対策事業債を活用しても、市は2億円程度の持ち出しとなる。この整備によって、どのように市民に利益がもたらされるのか。

答 天下森スキー場は、市の唯一のスキー場であり、この整備により狹半内地域の活性化と、市全体のスポーツ事業に資するものと考えている。

◆天下森スキー場等の施設の指定管理者の指定期間の変更

問 スキー場の整備は令和8年度の完成予定となっている。通常であれば3年間となる指定管理の期間を、令和4年度に1年延長する意味は何か。

答 スキー場のヒュッテに関する指定管理料など、整備が完成しないと確定できない部分がある。それまでは1年延長を繰り返すしかないと考えている。



年間を通した屋外レジャー空間となる
天下森スキー場

総務文教常任委員 | 高橋和樹・菅原恵悦・大日向香輝・福田 誠・塩田 勉・加藤雄太・本間利博・井上忠征・高橋聖悟



本間利博委員
雪対策費など
雪関連の予算は

問 市民、行政協働の取り組みは。

答 課題解決に向けて、事業者以外の共助組織や個人等に依頼して実施した雪下ろしについても事業の対象とし、費用助成を行った。今後も政策を進めていく。



個人等に依頼して行った雪下ろしも
費用助成の対象に

問 町内会等除雪活動費の予算の内容は。

答 早朝除雪路線となっていない道路に対する除雪活動団体への



菅原正志委員
財産活用推進
計画の内容は

問 公共施設解体の予算、今後の見通しは。

答 8施設分の解体工事を行う予算を計上している。今後は公共施設の保有総量の圧縮に向け、市や地域での活用、民間事業者への貸付や売却等を検討しながら計画的に進める。



令和4年度に解体工事が行われる
旧雄物川庁舎

問 計画の確実な実行には、市民の理解や賛同が不可欠だ。施設の利用状況を数値化、可

視化した「建物カルテ」の作成が住民との合意形成に大きな力になると思うがどうか。

答 施設の詳細な利用状況の把握に努めるとともに、現在の施設力ルテへの掲載の在り方も含めて検討していく。

●空き家対策について

問 空き家は個人財産とは言え、市民の安心安全や景観上の観点から市の関わりは大きい。市民が気軽に相談できる窓口を設けてはどうか。

答 地域に向向いての講座、相談会の開催などにより相談しやすい体制を作って行きたい。

■その他の質問

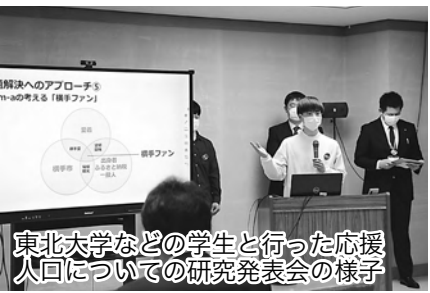
●十文字陸上競技場の充実について



青山 豊委員
応援人回りの
取り組みは

問 「応援人口」との関係「深化事業」の具体的な取り組み内容は。

答 首都圏在住の方を対象に、当市を知ってもらい、関わってもらう入り口としての「なべっこ遠足in東京」の開催や、応援人口の自発的な活動を促し、応援人口とのつながりを深める仕組みづくりについて、東北大学との共同研究を実施する。



東北大学などの学生と行った応援
人口についての研究発表会の様子

問 「横手応援拠点」の事業の内容は。

答 市出身者が経営する飲食店等に協力いただき、県外における応援人口の交流拠点、また魅力発信の拠点とする。首都圏や仙台圏を中心に登録店舗10件を目標に進める。

令和4年度 一般会計予算

3月定例会では、新年度予算について本会議とは別に分科会（横手市議会では、産業建設、厚生、総務文教の3つ）を設け、専門分野ごとに詳しく話し合っています。ここでは審査の主な内容を掲載します。

産業建設分科会

産業建設関連事業予算は否決すべきものと決定

◆民間温泉施設支援事業

設備投資に対しての補助の効果と、民間温泉事業者に限って支援することの公平性は。

答 民間の施設も支援しながら観光客の増加につなげる観点もある。コロナ禍における民間温泉施設の経営は各施設とも大変厳しい状況だと把握している。温泉サービスを継続いただくことで観光客の確保につながる効果もある。温泉設備は経年劣化が激しく、市として設備に対する支援を検討してきたところだ。コロナ禍で、宴会や宿泊がこれだけの状況になることは想定できなかったため、経営継続のためのスポット的な補助金創設と理解いただきたい。

◆就農支援事業

農業の求職、求人については、どのように取り組んでいくのか。

答 J A無料職業紹介所の活用については、県・市も加わり、定期的に会議を開き協議している。この紹介所の開設により、農業の雇用が見える化されたことは大きな前進であり、市民から農業の雇用にも興味を持つていただけるよう支援したい。また、市としては、園芸振興拠点センターを活用し、初心者が基本的な農業技術を身に付けられるような講習会を行うなど、より多くの方が農業に携われる仕組みを作りたい。県でも果樹試験場において一般市民を対象にした基礎的な作業研修を予定している。



4月にグランドオープンしたJA秋田ふるさと無料職業紹介所

◆果樹等自然災害復旧対策事業

薬剤助成の補助率維持の決議を出したのに30%から25%に引き下げられた理由は。

答 決議の内容は重く受け止めている。これまで助成率を見直してきた経緯がある。この度の雪害では、復旧事業に加え、市と連動しながら県などでも新たな支援策を予定している。また、J Aでも樹体の回復とともに徐々に販売額も上向いていくと計画を立てている。こうしたことから段階的に助成率を引き下げて果樹農家の自立経営を促すことも必要ではないかと考え、助成率を5%引き下げた。



県内でも高い生産額を誇る果樹の雪害からの早期復旧が望まれる

否 起立採決の結果、出席者可否同数となり、分科会長裁決により否決すべきものと決定した。

厚生分科会

雪おろし雪寄せへの支援充実を

◆雪下ろし雪寄せ支援事業

この事業は手厚くしていきたい部分だが、予算が減額になっていく理由は。

答 これまでは利用者から負担金を市に納めてもらい、市から事業者に代金を全額支払う方式であったが、令和3年度からは利用者が一旦全額支払い、市がその一部の額（3分の1または6分の1）を補助する形とした。そのため、補助の割合について変更はないが予算は減額となっている。制度改正により、個人や共助

組織の方などに依頼した作業の経費も補助の対象としたことで、担い手は2倍となり、想定を上回る利用があった。



個人や共助組織などに依頼した作業経費も対象となった

◆保育士等処遇改善臨時特例事業

単年度の事業では処遇改善にならない。事業所が努力して改善するステップへの指導は。

答 9月まではこの事業で対応するが、10月以降は、保育士については公定価格の一部として支給され、また、学童保育の支援員については国の子ども・子育て支援給付金の交付が予定されており、同水準で給付できるものと考えている。各施設の職員の処遇等に関しては、指導監督等で確認していく。

◆子宮頸がんワクチン接種キャッチアップ事業

接種者数の見込みと、副反応などへの相談体制は。

答 通常接種は対象者1700人の35%程度を、キャッチアップ接種は対象者2067人の20%程度を見込んでいる。全ての予防接種で相談窓口を整えており、健康被害が出た際は委員会を開いて対応する。

可 起立採決の結果、起立全員となり、可決すべきものと決定した。

総務文教分科会

地域の取り組みへの補助は減らさないで

◆町内会活動補助事業、地域づくり市民活動補助事業

令和3年度予算と比べ軒並み減額になっている理由は。

答 新型コロナウイルスの影響により交付件数は減っており、今後の状況が見通せないことから、交付実績を勘案し減額した。なお、道路の修繕などを要望する声は年々増加しており、それに対応できるよつこの事業で減額した分を地区会議のハード予算に上乗せしている。



雄物川福地地区で行われた交流農園事業

可 起立採決の結果、出席者起立全員となり、可決すべきものと決定した。

令和4年度 一般会計補正予算

産業建設分科会

プレミアム付商品券事業や、園芸作物規模拡大事業などについて審査しました。

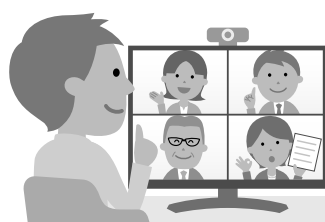
※プレミアム付商品券事業についての審査の詳細はP4をご覧ください。

否 起立採決の結果、出席者起立なしとなり、否決すべきものと決定した。

総務文教分科会

テレワーク環境整備事業や、文化財等デジタル映像活用計画策定事業などについて審査しました。

可 起立採決の結果、出席者起立全員となり、可決すべきものと決定した。



市職員の働き方改革に向けテレワークを推進

厚生分科会

◆オンライン介護予防システムのアプリはどのような方を対象に、どのような機能を構築するのか。

答 65歳以上の方を中心に、体調を管理しながら、健康づくりの成果をバーチャルで競う大会を開催して仲間づくりする機能を構築するなど、楽しみながら健康づくりや生きがいづくりができる仕組みを考えている。アプリ活用に向け、講習会を定期的に開催するなどの支援も行う。関係機関とも協議し、活用してもらえるように検討していく。

討論

反対 事業内容があいまい。交付金ありきで議論がされないまま提案され失敗した事業もたくさん経験している。もっと議論が必要だ。

賛成

アプリに疑問を感じるところはある。ただ、この事業が今後の高齢者へのスマートフォン普及などのきっかけとなることを期待する。

可 起立採決の結果、起立多数となり、可決すべきものと決定した。

問 農業支援に向けた、市職員の兼業認定の進捗状況はどうか。

答 全国事例や関係法令を参考にしながら許可基準案を作成する。また、どのような業務に兼業二職があるかなど、令和4年度に職員に対し意向調査を実施したい。

問 市役所本庁部局と地域局との関わり方は。

答 本庁部局は全市的な観点から事業の調整をし、地域局はその実行役としての機能を担っている。密接に連携し実施していく必要があるため、円滑な情報交換と事業執行に努めている。また、双方の業務や立場を理解できるように、若手職員を中心に両方を経験できる人事配置に努めている。

問 再任用職員は、経験や知見を生かした業務ができていくか。

答 短時間勤務での任用を原則とするが個々の知識や経験を生かした地域貢献活動を期待している。

問 横手市では廃止するとされたアナログ防災行政無線の使用期限が、国の制度改定で令和6年11月まで延長された。また、デジタル防災行政無線の整備に充当できる緊急防災・減災事業債も令和7年まで延長された。事業費の7割が財政措置されるこの事業債を利用し、防災行政無線のデジタル化を再考できないか。

答 市民への緊急情報や行政情報伝達は、SNSやコミュニティFMなどにより行っている。デジタル化の計画はない。また、現在使用しているアナログ防災行政無線は使用期限をもって廃止する。

Q 防災行政無線デジタル化の事業再考を
A デジタル化と新規整備はしない

創成の会 加藤 勝義 議員
かとう かつよし



●合併特例債の充当率について

問 合併時に合併特例債起債上限額を410億円と定めた。それを大幅に上回る、発行限度額544億円に近い起債の充当を見込んだ大型公共施設計画が進んでいるが、どのように捉えているか。

答 既に活用した合併特例債の償還も進んでいることから、体育館と市民会館の長寿命化を図る財源として、限度額近くまで活用することを選択した。

●その他の質問

●手話言語条例の必要性など



Q 市職員の農業支援の兼業認定は
A 許可基準案を作成し、意向調査を実施する

市民の会 菅原 正志 議員
すがわら ただし



問 女性が活躍できる職場となる取り組みは。

答 女性活躍推進法に基づき、特定事業主行動計画を定め、取り組んでいる。一つの指標として、課長級昇任試験の女性受験率を高めることが重要だが、令和3年度は男性と比較し30%低い状況にある。職員の人事配置においては、男女問わず適材適所に努め、全ての職員が最大限に能力を発揮できる職場づくりを目指す。

●その他の質問

●市内飲食業支援の取り組みなど



問 大型公共施設整備に当たり、建築資材価格の高騰をどのように捉えているか。

答 概算事業費の算定については、一定程度の社会情勢の変化を見越したものである。設計段階でさらなる社会情勢の変化や事業費の変更が見込まれた場合には、面積、設備等の調整を検討する。

問 指定管理料や施設の維持管理経費が、将来、経常収支を圧迫することはないか。

答 指定管理者制度の活用や、横手市財産経営推進計画（FM計画）の着実な推進により、維持管理経費の抑制につなげ、今後も持続的な行政運営に努める。

●空き家への対策と環境保全の取り組みは

問 市内には令和2年で1807戸の空き家があり、そのうち約7割が横手・平鹿・十文字地域にある。空き家はまちづく

問 市民に求められている行政サービスと総合的なまちづくりの視点から、空き家問題への対策が重要だが、老朽危険空き家となる前段階から対策が必要だ。令和3年に空家等の適切な管理に関する条例を改正したが、他市と同等以上の補助金の予算を早急に措置すべきだ。

答 解体事業費の30%以内、30万円を上限とする老朽危険空き家の解体補助金がある。令和4年度からは対象を特定空家等に拡大する。

問 第2期横手市空家等対策計画における今後の方向性は。

答 相談会開催など積極的に意見や要望を伺う機会を設け、行政や民間と地域の方々が連携し空き家対策を実施する仕組みを構築する。

問 団塊の世代の高齢化に伴い、一気に空き家が増大する可能性がある。空き家が増える可能性のある行政区を予測して課題を見える

Q 空き家対策事業を裏付ける予算を措置すべきでは
A 総合的、計画的に取り組む



佐藤 誠洋 議員
さとう まさひろ



空き家対策事業の比較（令和3年度）	
補助割合	補助上限額
大仙市 50%以内	- 老朽空き家相続から3年以内⇒100万円 - 相続から4年以上⇒50万円 - 危険空き家⇒100万円 - 迷惑空き家⇒100万円 - 要解体空き家⇒150万円 - 空き家を取得し跡地の利活用を行う場合 個人⇒50万円 業者⇒10万円（※一律）
横手市 30%以内	老朽危険空き家⇒30万円

化できる資料を作成し、それを基に仮説を立てて検証すべきでは。

答 課題の見える化は非常に有効と捉えている。前向きに検討する。

●鶴ヶ池荘の有効活用を

問 鶴ヶ池荘を市民が利用できる温泉としてだけでなく、温泉もあるケアハウス、デイサービス施設としての活用を検討してはどうか。

答 あらゆる可能性を排除せずに検討している。市民の皆さまに回答をお願いしているアンケート調査結果を分析し、議員の皆さまと協議を重ねていきたい。

Q 大型公共施設の整備は財政を圧迫しないか
A 経費抑制等につなげ持続的な行政運営に努める

さきがけ 塩田 勉 議員
しおた つとむ



問 平成28年に老朽危険空家対策を中心に第1期横手市空家等対策計画を策定した。しかし、その後も人口流出や少子高齢化により年々増加傾向にあり、第2期の計画では空き家の「予防の推進」「適正管理の推進」「利活用の推進」を基本方針とした。令和4年度から特定空家等対策に移行し、行政指導・行政処分、代執行などを適切に行う。解体補助の対象も特定空家等に拡充する。

答 平成28年に老朽危険空家対策を中心に第1期横手市空家等対策計画を策定した。しかし、その後も人口流出や少子高齢化により年々増加傾向にあり、第2期の計画では空き家の「予防の推進」「適正管理の推進」「利活用の推進」を基本方針とした。令和4年度から特定空家等対策に移行し、行政指導・行政処分、代執行などを適切に行う。解体補助の対象も特定空家等に拡充する。

問 関係する重要な問題だが、条例制定や施策拡充などの対策を整備できないか。



※特定空家等…保安上の危険性や衛生上の有害性、景観の阻害、その他周辺の生活環境に悪影響を及ぼす可能性のある空家等



立身 万千子 議員
たつみ まちこ

Q 小中学校就学援助の拡充を

A 長期化するコロナ禍の影響を注視していく

問 市の就学援助を受給している、要保護と進要保護を合わせた認定者数の推移はどうか。

答 少子化による児童生徒の減少などの要因により認定者の割合は減少している。新型コロナによる影響はほとんどないと捉えている。

●コロナ禍に保護者が休暇を取得しやすい環境の整備を

問 新型コロナへの対応として、労働局で行う小学校休業等対応助成金制度等を広く活用してもらいたい。保護者が希望に応じて休暇を取得できる環境を整えるため、制度の周知が必要と思うが、市での対応は。

答 市のホームページで案内している。今後もハローワークや市内商工団体等と連携して周知に努める。

●休校時こそ社会教育の充実を

問 市内各地の小規模単位での伝統文化を集落会館などで次世代に伝える取り組みができないか。



子どもたちが受け継いだ金沢ささら舞

答 コロナ禍において、子どもの活動機会が少なくなった。また、伝統行事は担い手不足の折、存続が難しくなっている団体もある。主な伝統文化を映像などのデジタルデータで記録することで、小規模な社会教育の場での活用も期待できる。

●国民健康保険税均等割の軽減を

問 18歳未満の加入者の国民健康保険税均等割を軽減できないか。

答 一義的には国が行うべき施策だ。軽減を実施する場合は、全加入者へその負担を求めることになるため、慎重な判断が必要と考える。



加藤雄太 議員
かとう ゆうた

Q コロナ禍における児童生徒への対応は

A より充実した相談体制を整えていきたい

問 児童生徒に対するメンタルケアの取り組み状況は。

答 定期的に教育相談やアンケートを実施するなど、子どもたちのSOSを捉え、解決に向けた取り組みにつなげている。また、不登校適応指導教室である、かがやき教室では、長期にわたって学校を欠席している子どもや保護者の支援、相談に当たっている。

問 「学びを止めない」という考えのもと、緊急時におけるタブレット端末の貸し出しについて、早急に体制作りを進めるべきでは。

答 これまでの試みや経験を生かし、貸し出しのルール作りや要綱制定に向けて取り組んでいる。

●地域の雪処理への支援は

問 問口除雪に対する支援として、生活道路除排雪協働事業の利用基準の一部緩和、拡充はできないか。

答 除雪活動費補助金の対象とし



子どもと保護者を支援するかがやき教室

て、問口除雪を含む、地域の雪処理に対する課題解決の活動を含めることを検討している。

●水道事業の現状は

問 水道管の老朽化、漏水への対応が急務と考えるが現状はどうか。

答 優先順位を設定し、年次計画で更新している。しかし、各家庭の管理となる区間の水道管では、修繕に個人の費用負担が発生することからなかなか進んでいない。

■その他の質問

●国、県が推進する水道事業の広域連携について



井上忠征 議員
いのうえ ちゅうせい

Q 賃金水準アップへ市の対応は

A 市内経済を発展させ向上を目指す

問 国と県では、住民の賃金アップにより産業振興につなげる施策を行うが、市の対応を伺う。

答 市内の新卒初任給平均額は県内平均より低くなっている。若年者の人材確保と地元定着には早急に取り組む課題と捉えるが、一朝一夕には成し得ない。市内企業の支援と企業誘致を進め経済を発展させ、賃金水準のアップを目指す。

●デジタル推進計画について

問 高齢化社会に向けてもデジタル化は重要である。令和4年末までに策定する大要を伺う。

答 「住民の利便性向上」「新たな価値創造」「誰一人取り残さない社会の実現」の3つを目標とする。行政手続きのオンライン化、マイナンバーカードの普及・活用、市が公開するオープンデータ充実による新たな価値創造の取り組みへの寄与、高齢者を中心とした体験型講



習会の開催等、デジタル技術の利便性を実感できる施策を立案する。

●財政面について

問 財政調整基金残高は、自然災害が続いた場合でも対応可能か。

答 財政調整基金は不測の事態に備え、長期的視野で計画的な財政運営を行うための積立金だ。令和2年度には大雪災害経費を財政調整基金で対応した。長期シミュレーションでは大型公共施設建設事業着手後も災害対応可能と考える。

■その他の質問

●空き家対策、雪対策、公共施設へのネーミングライツ



賃金水準アップが市内経済発展のカギ



宮川拓也 議員
みやかわ たくや

Q 今後の公共交通機関の在り方を伺う

A 路線維持に向けた支援を行う

問 路線バスについて、今後も運休、減便が見込まれる中、市の公共交通機関の在り方の方針は。

答 路線バスは公共交通を担う土台となるため、引き続き路線維持に向けた支援を行っていく。

問 公共交通事業者への補助が増え続けているが今後の見通しは。

答 青天井に補助金を増やすわけにはいかないが、まずは路線バスの維持に努める。路線バス空白地域を含め、一定の公共交通網を整えるための補助は行わなければならないと思う。

問 補助金以外で、除雪など利用者拡大のための支援はあるか。

答 利用者増加につながるように免許返納者への公共交通利用回数券の支給などを行っている。また、バス路線は他の道路に優先して除排雪を実施している。

問 バス事業が縮小する中で、今



運行開始から10年を迎える横手市循環バス

後自家用旅客運送などの代替交通を拡大する可能性はあるか。

答 現状では法律の観点から許可が下りないため代替交通の拡大は難しいが、一つの形として検討は続けていきたい。

問 横手市循環バスについて、運行本数や運行ルート、料金体制などの見直しの検討はあるか。

答 一便あたりの運行時間や利用する沿線の方々の利便性を考慮すると、ルート変更や延長は困難だ。引き続き、事業者とともに利用実態等を注視していきたい。

もっと伝わる、もっと身近な議会に

広報分科会研修報告

2月7日

広報セミナー

日本広報協会で広報アドバイザーを務める吉村潔氏を講師に迎え、リモートでのセミナーを実施しました。

研修では、議会広報の現状と課題や、編集の基礎知識についての講義のあと、議会だより第70号の紙面についてクリニックを受けました。

広報アドバイザー
吉村 潔 氏から



横手市議会は全国でもトップレベルの議会改革に取り組む議会の一つです。

今後も市民の声を反映した議会活動を積極的に進め、広報活動がその取り組みのエンジンとなって全国の自治体議会の広報広聴活動をリードしていただきたいと思います。



なるほど！
そうすればいいのか～

さっそく改善して
いきましょう！

講義では、市民に身近な議会になるための広報活動の在り方や、情報の伝え方などについて学びました。クリニックでは、色使いや、紙面の余白バランス、見出しの工夫など細かい部分までアドバイスをいただきました。

高校生議会だよりモニター

令和3年度にモニターとなっていた、県立雄物川高校生18名の皆さんに、議会だよりに対するご意見などを話し合っていました。



明るい
デザインの
ほうが読みた
く
な
る
と
思
い
ま
す

一般質問の
記事に
とても興味
が
あ
り
ま
す

文字が多かったり、
難しい用語がある記事は
読みたくな
い
な
あ

議会用語の
解説ページへの
QRコードを
掲載したらどうだろう

アドバイスやご意見を
紙面づくりに生かします

セミナーで学んだ内容や、高校生議会だよりモニターの皆さんからのご意見は、さっそく今号の紙面づくりに取り入れています。
(議会用語解説ページへのQRコード掲載など)

これからももっと伝わる、もっと身近な議会を目指して広報紙づくりを進めていきます。

議会の主な動き

1月
7日 産業建設常任委員会協議会
19日 厚生常任委員会協議会
20日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会(議案説明会・行政課題説明会)
21日 総務文教常任委員会協議会、産業建設常任委員会協議会
27日 市議会1月臨時議会[P5]
28日 全員協議会(行政課題説明会)

2月
7日 広報分科会広報セミナー[P15]
14日 議会改革推進会議
18日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会(議案説明会、行政課題説明会)、広報分科会
22日 市議会3月定例議会(～3月23日)[P4～14]、議会運営委員会、議員懇談会
25日 正副委員長会議、議会運営委員会
28日 広報分科会
3月
3日 広報分科会
8日 議会運営委員会
10日 全員協議会(議案説明会)、ICTプロジェクトチーム会議
18日 正副委員長会議、議会運営委員会、広報分科会
22日 全員協議会(行政課題説明会)
23日 議会改革推進会議



鈴木 勝雄 議員

すずき かつお

Q コロナ禍、全市民を対象とした支援給付等は

A 全市民への一律給付は予定していない

問 新型コロナウイルス感染者は横手でも1000人を超えた。新型コロナウイルス感染拡大や、ガソリン、灯油等の値上がりで市民は困っている。このような時こそ、行政で市民に支援給付することが大事ではないか。

答 全市民に対する一律給付支援は、経済効果も限定的で一過性に留まるものと考えており、現時点で実施する予定はない。



近隣自治体でも数多く行われている地域振興券の給付事業

●農業振興について
問 J Aと園芸作物振興に関する連携協定を締結して5年になるが、連携協定の効果等、事業の評価は。

答 市とJ Aが互いに目的を一つにし、県や農業委員会も含め、農業の諸課題解決や持続的発展のために知恵と力を出し合う仕組みができたことが最大の成果と考える。

問 施政方針では高収益作物の導入で園芸作物への作付転換を後押しするとあるが、作付面積は減っ

ている。園芸作物を維持拡大するための支援対策を検討できないか。

答 高収益作物導入推進事業の見直しを行い、重点振興作物の補助率や補助上限額を引き上げる。園芸作物への作付転換や経営安定化を図り、営農維持、拡大に向けた支援をしていきたい。

問 市単独の補助事業である水田利活用緊急対策事業の令和4年度予算が減額されているのはなぜか。

答 交付単価や交付要件に変更はなく、これまでの実績を踏まえ積算したものである。



土田 百合子 議員

つちだ ゆりこ

Q 赤坂総合公園一帯の防災拠点としての考えは

A 一体的に使用し新体育館は避難所として使用する

問 赤坂総合公園一帯を防災拠点としてどのように活用するのか。

答 体育館建設後は災害規模に応じた運用を想定している。

●小児への新型コロナワクチン接種について
問 保護者等にワクチンに関する有効性や重要性等の情報を伝える体制はできているか。

答 接種を進めるに当たって、ご自身や保護者により判断してもらうことが重要であり、ホームページ等での情報発信と、医師からの丁寧な説明を重要視している。

●子育て支援の拡充を
問 医療費助成の対象を高校生まで拡大すべきと考えるがどうか。

答 県による福祉医療制度の見直しも検討されているので、動向を注視しながら内容を詰めていく。

●学校教育での相談環境の充実を
問 SNSを活用した相談体制を

行うことはできないか。

答 通信媒体の多様化が進んでいる現在、児童生徒が心の悩みを相談できる機会の拡充は必要だ。インターネットを活用した相談窓口を令和4年度はじめに開設できるように、準備を進めている。

●障がい者雇用の推進を
問 大型公共施設での障がい者の雇用は想定しているか。

答 組織全体として一定数の雇用を進める必要がある。これまでも雇用に向けてきたが、引き続き障がい者の雇用に配慮していく。



平成26年には赤坂総合公園一帯が県の総合防災訓練会場となった

青春 キャンパス色

増田中学校
美術部

皆さん、こんにちは！私たちは、増田中学校の美術部です。現在は2年生2人、3年生5人の計7名という部員数で、新人部員の加入を待っているところです。

普段は、ポスターコンクールや各種美術展への出品、文化祭の美術部展に展示する作品の制作をしています。部員は信頼できる仲間たちなので、何気ない会話でよく笑い合い、和やかに活動しています。部員の中には、動物描写が得意な人、風景画が得意な人、人物像が得意な人など、それぞれの得意分野があります。その特色を生かして、アドバイスし合ったり、教え合ったりすることも多いです。

増中祭の美術部展は、多くの方に作品を見てもらえる数少ないチャンスなので、力を入れて取り組んでいます。何カ月も前から制作に取りかかり、多くの作品を展示しようと頑張っています。昨年

度は、部員数が少なかったので会場づくりも大変でしたが、協力して設置することができました。黒板アートにも挑戦し、少しでも集客できるように、人気のキャラクターを描いてみました。描いているときもとても楽しかったし、多くの方に見ていただけて良かったです。

美術部は、私たちにとってとても居心地のよい場所だと感じています。「和敬」の雰囲気の中、「挑戦」の精神を大切にして、これからもより成長していけるように精進していきたいと思います。

増田中学校美術部部長 3年 高橋 小雪



増田中学校 美術部の皆さん

ありがとう

「もっと教えて！横手市議会」10周年！！

平成24年4月9日に第1回の放送をスタートした横手市議会のFM番組「もっと教えて！横手市議会」が放送開始から10周年を迎えました。

4月11日には、10周年記念番組第1弾として『「もっと教えて！横手市議会」10年の歩み』を放送。過去の広報担当委員長らが、「もっと教えて！横手市議会」の過去、現在、そして未来を熱く語りました。



記念すべき第1回放送の収録風景(平成24年4月5日)

第2弾

10周年記念番組の放送予定

6/13 プレイバック
「もっと教えて！横手市議会」

過去にご出演いただいた方々に再度インタビュー！市議会への思いをお話いただけます。

好評放送中

横手かまくらFM 77.4MHz

もっと教えて！横手市議会

毎月第2・4月曜日 午前10時40分～

再放送：翌火曜日 午前7時30分～



これまでの放送内容は
こちらからお聴き
ください。

NEW!

分かりにくい
議会用語などは
こちらで
解説しています



分かりにくい議会用語が
他にもございましたら、
議会事務局までお知らせ
願います。

横手市議会公式
Facebookページ



タイムリーに情報発信中
ページへの
お待ちしています。

編集後記



冬の豪雪がいつの間にか消え去り、青葉若葉が美しい季節の到来です。

広報分科会も若葉マークの議員が多いですが、不慣れなところは市民の皆さんに一番近い存在だからと、前向きに取り組んでいます。これからも「あなたと市議会」をよろしくお願いいたします。（井上 忠征）

広報広聴委員会 広報分科会

分科会長	大日向香輝	副分科会長	林 一輝
委員	井上 忠征	加藤 雄太	青山 豊
	福田 誠	山形 健二	